

令和 6 年度モニタリングシート

【施設名等】

施 設 名	大洲市「道の駅」清流の里ひじかわ	位 置	大洲市肱川町宇和川3030番地
指定管理者名	株式会社 清流の里ひじかわ	所管課	肱川支所 TEL:0893-34-2311

【施設の概要】

設 置 年 月 日	平成13年12月1日	構 造	本館棟 木造平屋建て 農産物販売棟 木造平屋建て レストパーク 木造平屋建て
設 置 目 的	道路利用者のための休憩機能、都市および周辺地域との人、物、情報等の交流を促進し、経済の情報発信基地とする。		
施 設 機 能	・本館棟 物産販売所 地域食材供給施設 交流室 ・農産物販売棟 農産物販売所 レストパーク ・情報提供施設 公衆用トイレ ・駐車場 RV パーク		
利 用 料 金 等	利用料金については、大洲市総合交流拠点施設条例に規定する範囲内で、市長の承認を得て指定管理者が定める。		
開 館 ・ 閉 館	休館日 1月1日及び拠点施設の管理運営上必要がある日 開館時間 物産販売所 午前 8時から午後6時まで 地域食材供給施設 午前11時から午後8時まで 交流室 午前 8時から午後6時まで 農産物販売所 午前 8時から午後6時まで		
指 定 管 理 業 務 内 容	①拠点施設利用者の施設又は設備の利用の許可に関する業務 ②拠点施設の維持管理に関する業務 ③拠点施設の利用に係る料金の収受に関する業務 ④拠点施設の設置目的を発揮するための事業に関する業務		
施 設 管 理 体 制	株式会社 清流の里ひじかわ職員(正職員6名・臨時職員4名)		

【施設利用者数】

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
R6 年度	10,350	10,804	9,834	7,421	8,822	9,460	10,797
R5 年度	11,088	11,429	9,571	7,276	9,533	9,752	11,001
比 較	△738	△625	263	145	△711	△292	△204
	11月	12月	1月	2月	3月	計	
R6 年度	10,152	9,049	6,554	5,812	9,294	108,349	
R5 年度	10,476	9,211	7,194	7,776	10,014	114,321	
比 較	△324	△162	△640	△1,964	△720	△5,972	

【指定管理者としての収入・支出(決算)】

(単位:円)

収入内訳	収入金額	支出内訳	支出金額
売上高	38,736,731 円	仕入高	15,080,910 円
テナント等収入	1,001,021 円	人件費	22,894,824 円
受取利息	11,241 円	管理経費	18,164,498 円
雑収入	84,850 円	法人税等	209,500 円
指定管理料	18,370,000 円	雑損失	19,639 円
合 計	58,203,843 円	合 計	56,369,371 円

【サービス向上に向けた取り組み】

R6 年度	令和6年度は全国的に記録的な猛暑となり、その気象状況から農産物の収穫量が減少し農産物販売所の棚の空きが目立つこととなった。そのため、他の「道の駅」との連携や、地元農家との調整により、不足する野菜等について仕入販売を行うことにより、サービス低下の軽減を図った。 また、レストラン事業者撤退後、月1回の頻度で他団体による惣菜やお菓子販売をカフェとして実施、これに併せて、景色を楽しみながら食事が出来る場所としてレストラン部分を開放することで、利用者に憩いのひと時を過ごしていただいた。
R5 年度	来客者に対する積極的な声掛けをするため、リーダー研修などで学んだ「ペップトーク・コミュニケーション・ティーチング技術」を毎月開催している職員全員ミーティングで情報を共有し、意識改革を図っている。これに併せて、売上目標値の設定が明確になるよう数値化し、販売に関する意識向上を図っている。 また、来客者の安全確保に資するため、職員全員が普通救命講習Ⅰを受講し、不測の事態に備えている。

【利用者から要望と対応状況】

利用者からの苦情・要望等	利用者からの苦情・要望への対応
商品の品質等管理について	商品の品質確保については、定期確認の回数を増やすことで対応を行っている。また、令和6年度から影響することとなった食品衛生法改正に伴う対応についても、利用者に対し丁寧な説明を行った。

【指定管理者の自己検証】

令和6年度は記録的な猛暑や冬場の大雪など、天候による外出控えが影響し来客者数、売上げともに減少傾向となった。夏の猛暑に関しては農産物の収穫量に大きな影響を及ぼし、農産物販売所の商品棚に空きが目立つ状況となったが、他道の駅や地元農家との連携により不足する農産物を補うことで窮地を凌いだ。また、食品衛生法の改正により漬物等出荷のハードルがあがったことも道の駅にとって大きな影響を与えている。道の駅単体では解決困難な課題も多いため、道の駅関係者や地域と一体となって当施設が賑わうよう運営を行っていきたい。
--

【施設所管課の検証・評価】

法定点検や報告など、施設管理については概ね良好であり、仕様書等に基づいた管理・運営が行われている。 天候等の自然現象が運営に影響しやすい施設であり、主力商品である農産物の確保も困難となるなか、道の駅同士の連携や地元農家との調整により、サービスの質を落とさないよう努力されていることが伺える。 令和6年度の集客数は前期と比較し減少したが、道の駅関係者や地域と一体となり、何よりも来客者にとって楽しい時間が過ごせるよう、イベントの企画や商品展開等を継続し、健全な運営に取り組んでいきたい。
